

1 次の hakken. の法則を読んで内容を覚えなさい。

ABCDE

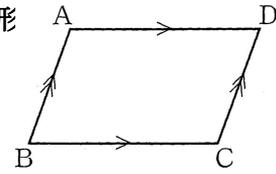
**平行四辺形の定義と定理**

**hakken. の法則**

★平行四辺形の定義…2組の向かいあう辺がそれぞれ平行な四角形

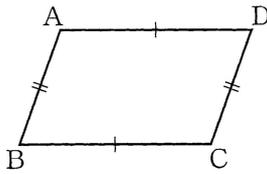
四角形 ABCD で,  $AB \parallel DC, AD \parallel BC$

◎四角形は, とわりどうしの角をたすと  $180^\circ$ になる。



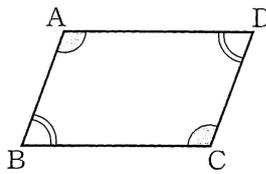
★平行四辺形の性質 (定理)

1 平行四辺形の2組の向かいあう辺は等しい。



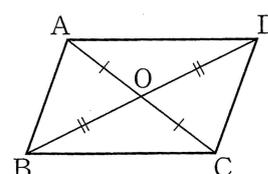
$AB=DC, AD=BC$

2 平行四辺形の2組の向かいあう角は等しい。



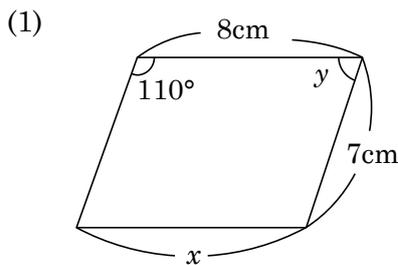
$\angle A = \angle C, \angle B = \angle D$

3 平行四辺形の対角線は, それぞれの midpoint で交わる。



$OA=OC, OB=OD$

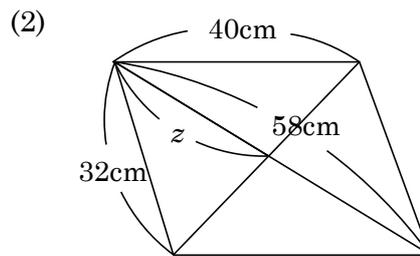
例 次の平行四辺形で,  $x, y, z$  の値を求めなさい。



[解き方]  $x=8$

$\angle y = 180 - 110 = 70^\circ$

[答]  $x=8 \text{ cm}, \angle y=70^\circ$



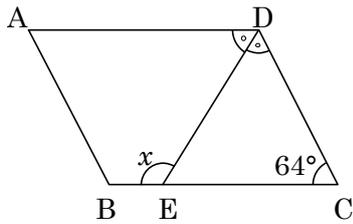
$z = 58 \div 2 = 29$

[答]  $z=29 \text{ cm}$

2 次の①②の平行四辺形で、 $x$ の値を求めなさい。

ABCDE

①



$$\angle ADC = 180 - 64 = 116^\circ$$

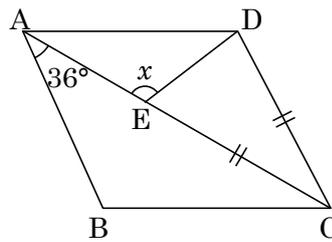
$$\angle CDE = 116 \div 2 = 58^\circ$$

三角形の内角と外角の関係から

$$\angle x = 58 + 64 = 122^\circ$$

$$\angle x = 122^\circ$$

②



平行線の錯角は等しいから

$$\angle DCE = 36^\circ$$

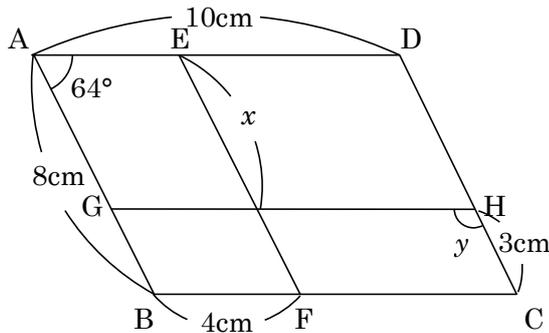
$$\angle CED = (180 - 36) \div 2 = 72^\circ$$

$$\angle x = 180 - 72 = 108^\circ$$

$$\angle x = 108^\circ$$

3 次の平行四辺形 ABCD で、 $AB \parallel EF$ 、 $AD \parallel GH$  のとき、 $x$ 、 $y$ の値をそれぞれ求めなさい。

BCDE

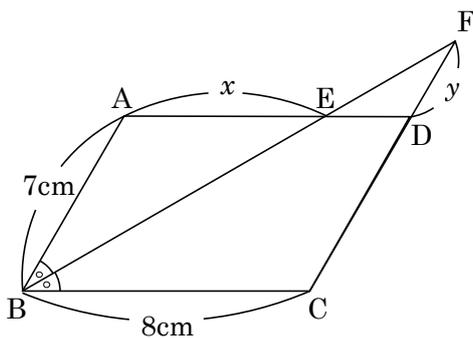


$$\angle y = 180 - 64 = 116$$

$$\underline{x = 5\text{cm}, y = 116^\circ}$$

4 次の平行四辺形で、 $x$ 、 $y$ の値をそれぞれ求めなさい。

BCDE



$\triangle ABE$  において

平行線の錯角は等しいから

$\angle AEB = \angle EBC$ 、よって $\triangle ABE$ は、二等辺三角形

$$x = 7$$

$\triangle DEF$  において、 $\angle DEF = \angle AEB$  (対頂角)、

$\angle ABE = \angle DFE$  (錯角)、よって

$\triangle DEF$  は、二等辺三角形、 $y = 8 - 7 = 1$

$$\underline{x = 7\text{cm}, y = 1\text{cm}}$$

5 次の hakken. の法則を読んで内容を覚えなさい。

ABCDE

平行四辺形になるための条件

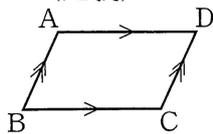
hakken. の法則 

★平行四辺形になるための条件…四角形は、次のどれかが成り立てば平行四辺形である。

- ① 2組の向かい ② 2組の向かい ③ 2組の向かい ④ 対角線が、 ⑤ 1組の向かい

あう辺が  
それぞれ平行  
である。

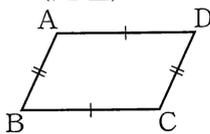
(定義)



AB // DC  
AD // BC

あう辺が  
それぞれ  
等しい。

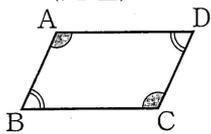
(定理)



AB = DC  
AD = BC

あう角が  
それぞれ  
等しい。

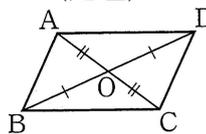
(定理)



$\angle A = \angle C$   
 $\angle B = \angle D$

それぞれの  
中点で交わる。

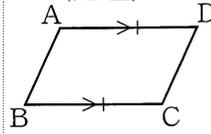
(定理)



AO = CO  
BO = DO

あう辺が、  
等しくて  
平行である。

(定理)



AD = BC  
AD // BC

◎AB = DC, AB // DC  
でもよい。

例 下の図のように平行四辺形 ABCD の AD, BC 上に、それぞれ点 E, F を  $AE = CF$  となるようにとるとき四角形 EBF D は平行四辺形になることを証明しなさい。

[証明] 平行四辺形は 2組の向かいあう辺が  
それぞれ等しいので、 $AD = BC$  …①

仮定より、 $AE = CF$  …②

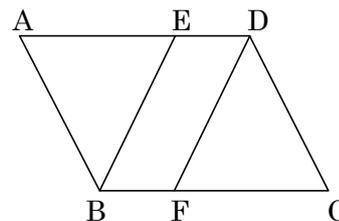
①②より、 $AD - AE = BC - CF$

よって、 $ED = BF$  …③

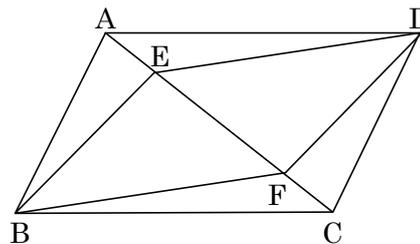
平行四辺形は 2組の向かい合う辺がそれぞれ平行なので、 $AD // BC$

つまり、 $ED // BF$  …④

③④より、1組の向かい合う辺が平行で長さが等しいので、  
四角形 EBF D は平行四辺形



- 6 平行四辺形 ABCD の対角線 AC 上に  $AE=CF$  となるように点 E, F をとると, 四角形 EBFDA



$\triangle ABE$  と  $\triangle CDF$  において,

仮定より,  $AE=CF$ …①

$AB \parallel DC$  の錯角は等しいから,

$\angle BAE = \angle DCF$ …②

平行四辺形の向かいあう辺は等しいから,

$AB=CD$ …③

①②③より, 2組の辺とその間の角がそれぞれ等しい

よって,  $\triangle ABE \cong \triangle CDF$

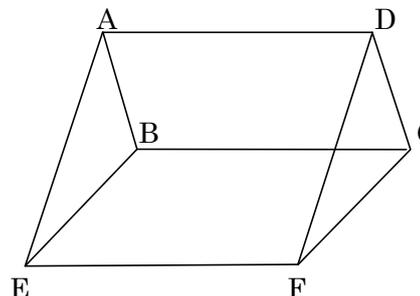
よって,  $EB=FD$ …④

同様にして,  $ED=FB$ …⑤

④⑤より 2組の向かいあう辺がそれぞれ等しい

したがって, 四角形 EBFDA は平行四辺形

- 7 右の図で, 四角形 ABCD, BEFC がともに平行四辺形ならば, 四角形 AEFDA



仮定より,  $AD \parallel BC$ …①

$BC \parallel EF$ …②

①②より,  $AD \parallel EF$ …③

平行四辺形の 2組の向かいあう辺はそれぞれ等しいから

$AD=BC$ …④

$BC=EF$ …⑤

④⑤より,  $AD=EF$ …⑥

③⑥より, 1組の向かいあう辺が等しくて平行

よって, 四角形 AEFDA は平行四辺形

- 8 右の図で平行四辺形 ABCD の辺 CD の延長上に、 $CD=DE$  となる点 E をとり、線分 BE と辺 AD との交点を F とする。このとき、 $AF=DF$  であることを証明しなさい。

$\triangle ABF$  と  $\triangle DEF$  において、

仮定より、 $CD=DE$  …①

平行四辺形 ABCD で、

2組の向かいあう辺は

それぞれ等しいから、

$CD=AB$  …②

①②より、 $AB=DE$  …③

平行四辺形 ABCD で 2組の向かいあう辺はそれぞれ平行であり、

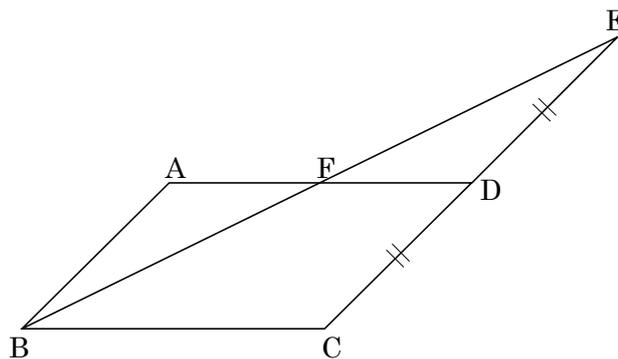
$AB \parallel CE$  の錯角は等しいから、 $\angle ABF = \angle DEF$  …④

$\angle BAF = \angle EDF$  …⑤

③④⑤より、1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しいから

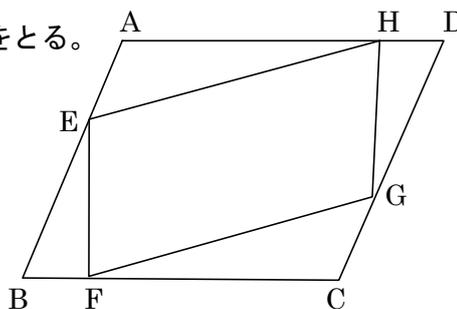
$\triangle ABF \cong \triangle DEF$

よって、 $AF=DF$



9 右の図のように、 $\square ABCD$  の辺  $AB$ ,  $BC$ ,  $CD$ ,  $DA$  上

BCDE に、 $AE=BF=CG=DH$  となるような 4 点  $E$ ,  $F$ ,  $G$ ,  $H$  をとる。  
このとき、四角形  $EFGH$  は平行四辺形になることを  
証明しなさい。



$\triangle AEH$  と  $\triangle CGF$  において、

仮定より、 $AE=CG$  …①

$DH=BF$  …②

平行四辺形の 2 組の向かいあう辺はそれぞれ等しいから、

$AD=BC$  …③

②③より、 $AH=CF$  …④

平行四辺形の 2 組の向かいあう角はそれぞれ等しいから、

$\angle EAH=\angle GCF$ …⑤

①④⑤より、2 組の辺とその間の角がそれぞれ等しい

よって、 $\triangle AEH \cong \triangle CGF$

したがって、 $EH=GF$ …⑥

同様に、 $\triangle BEF \cong \triangle DGH$  より、 $EF=GH$ …⑦

⑥⑦より、2 組の向かいあう辺がそれぞれ等しいので

四角形  $EFGH$  は平行四辺形

10 次の hakken. の法則を読んで内容を覚えなさい。

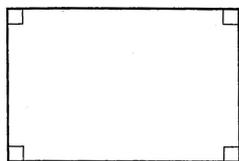
ABCDE

いろいろな四角形

hakken. の法則 

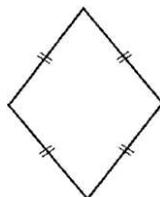
★長方形

定義…4つの角がすべて等しい四角形



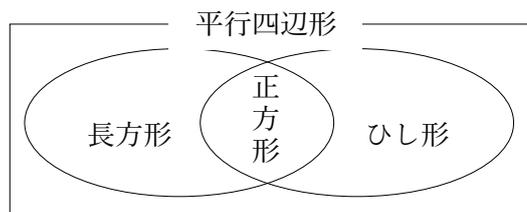
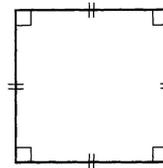
★ひし形

定義…4つの辺がすべて等しい四角形

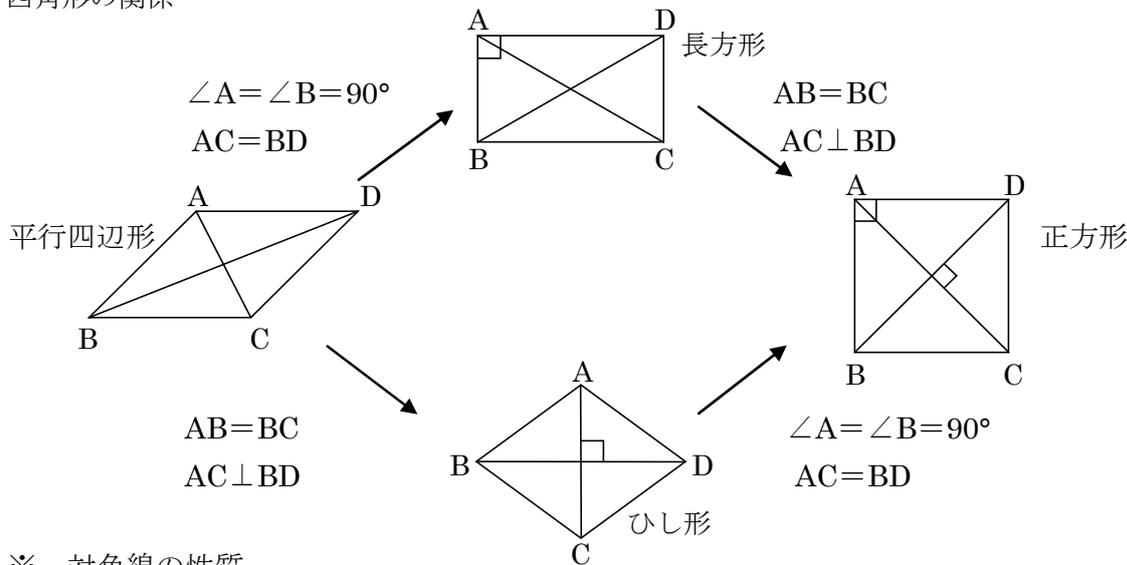


★正方形

定義…4つの角がすべて等しく4つの辺がすべて等しい四角形



★四角形の関係



※ 対角線の性質

長方形…長さが等しい。ひし形…垂直に交わる。正方形…長さは等しく、垂直に交わる。

11 次の四角形について、それぞれもっている性質を㉠～㉣からすべて選び、記号で

答えなさい。

- ㉠ 4つの辺の長さが等しい    ㉡ 対角線の長さが等しい    ㉢ 対角線が垂直に交わる

① 長方形

㉡

② ひし形

㉠, ㉢

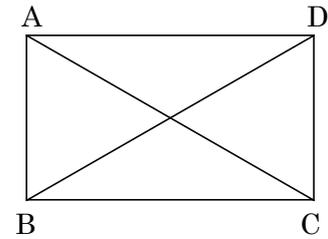
③ 正方形

㉠, ㉡, ㉢



14 「対角線の長さの等しい平行四辺形は長方形である」ことを、証明しなさい。

BCDE



平行四辺形 ABCD で、 $AC=BD$  とする

$\triangle ABC$  と  $\triangle DCB$  において、

$AC=BD$ …①

平行四辺形の向かいあう辺は等しいから、

$AB=DC$ …②

$BC$  は共通だから、 $BC=CB$ …③

①②③より、3組の辺がそれぞれ等しいから、 $\triangle ABC \cong \triangle DCB$

よって、 $\angle ABC = \angle DCB$ …④

また平行四辺形の向かいあう角は等しいから、

$\angle ABC = \angle ADC$ …⑤

$\angle BCD = \angle BAD$ …⑥

④⑤⑥より、4つの角がすべて等しいから、

四角形 ABCD は長方形である

15 次の hakken.の法則を読んで内容を覚えなさい。

ABCDE

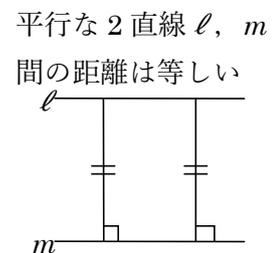
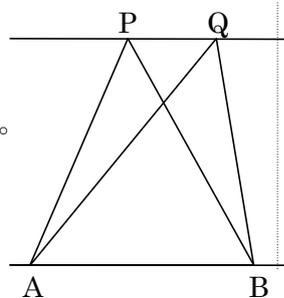
平行線と面積

hakken.の法則

★底辺が共通な三角形

I  $PQ \parallel AB$  ならば、 $\triangle PAB = \triangle QAB$  は、  
2つの三角形の面積が等しいことを示す。

II  $\triangle PAB = \triangle QAB$  ならば、 $PQ \parallel AB$



例  $PQ \parallel AB$  ならば、 $\triangle PAB = \triangle QAB$  となることを証明しなさい。

[証明] 平行な2直線間の距離は等しいから、

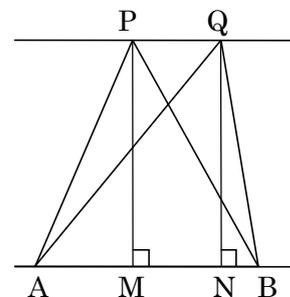
$PM=QN$ …①

また、 $\triangle PAB$  と  $\triangle QAB$  の底辺  $AB$  は共通だから、

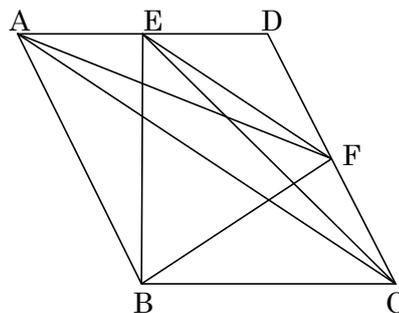
$AB=AB$ …②

①②から、高さとお底辺がそれぞれ等しいから、

$\triangle PAB = \triangle QAB$



- 16 右の図で  $\square ABCD$  の辺  $AD$ ,  $CD$  上に  $AC \parallel EF$  と  
 ABCDE なる点  $E$ ,  $F$  をとる。このとき、図の中で  $\triangle ACF$  と  
 面積が等しい三角形をすべて答えなさい。



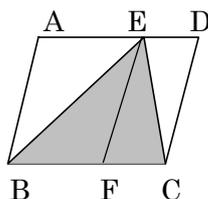
$AB \parallel DC$  より  $\triangle ACF = \triangle BCF$   
 $AC \parallel EF$  より  $\triangle ACF = \triangle ACE$   
 $AD \parallel BC$  より  $\triangle ACE = \triangle ABE$

$\triangle BCF \triangle ACE \triangle ABE$

- 17 平行四辺形  $ABCD$  の面積が  $24\text{cm}^2$  とき、 $\triangle BEC$  の面積を求めなさい。  
 ABCDE

右の図のように、 $AB$  に平行に  
 直線  $EF$  をひく

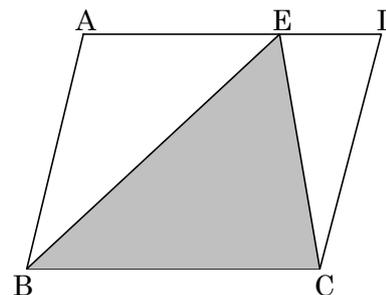
$\triangle ABE \equiv \triangle FEB \dots \textcircled{1}$   
 $\triangle EFC \equiv \triangle CDE \dots \textcircled{2}$



$\textcircled{1}\textcircled{2}$  から、 $\triangle BEC = \frac{1}{2}$  平行四辺形  $ABCD$

$$= 24 \times \frac{1}{2}$$

$$= 12$$

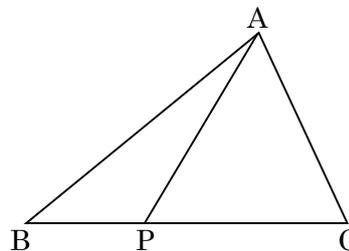


$12\text{cm}^2$

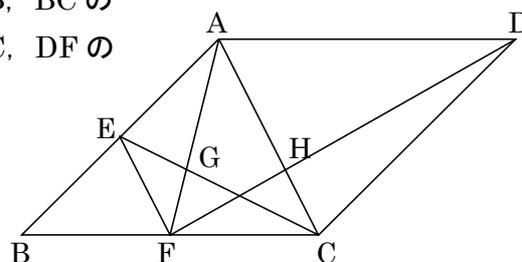
- 18 つぎの図の  $\triangle ABC$  で、辺  $BC$  上に、 $BP : PC = 2 : 3$  となる点  $P$  があるとき、 $\triangle ABP$  と  
 BCDE  $\triangle APC$  の面積の比を求めなさい。

高さが同じなので、底辺の比がそのまま  
 面積の比になる

$2 : 3$



- 19 右の図は平行四辺形 ABCD で、点 E、点 F が辺 AB、BC の  
BCDE 中点で、線分 AF、CE の交点を G とする。線分 AC、DF の  
交点を H とする。このとき  $AC \parallel EF$  となる。  
次の問いに答えなさい。



- ①  $\triangle AEC$  と平行四辺形 ABCD の面積の比を  
求めなさい。

$$\text{平行四辺形 } ABCD \times \frac{1}{2} = \triangle ABC$$

$$\triangle AEC \text{ と } \triangle BEC \text{ は、底辺と高さが同じだから、} \triangle ABC \times \frac{1}{2} = \triangle AEC,$$

$$\text{したがって、平行四辺形 } ABCD \times \frac{1}{2} \times \frac{1}{2} = \triangle AEC$$

$$\text{平行四辺形 } ABCD \times \frac{1}{4} = \triangle AEC$$

$$\underline{\underline{1 : 4}}$$

- ②  $\triangle ABF$  と同じ面積の三角形をすべて答えなさい。

$$\text{底辺と高さが同じだから、} \triangle AEC = \triangle BEC$$

$$\text{底辺と高さが同じだから、} \triangle ABF = \triangle AFC = \triangle DFC$$

$$\text{①より、} \triangle AEC = \text{平行四辺形 } ABCD \times \frac{1}{4}$$

$$\text{同じように、} \triangle ABF = \text{平行四辺形 } ABCD \times \frac{1}{4} \text{ よって}$$

$$\triangle ABF = \triangle AEC = \triangle BEC = \triangle AFC = \triangle DFC$$

$$\underline{\underline{\triangle AEC, \triangle BEC, \triangle AFC, \triangle DFC}}$$

20 右の図で  $\square$  ABCD の辺 AB, BC 上に  $AC \parallel EF$  となる点 E, F をとる。

BCDE このとき、次の①, ②にあてはまる三角形をすべて書きなさい。

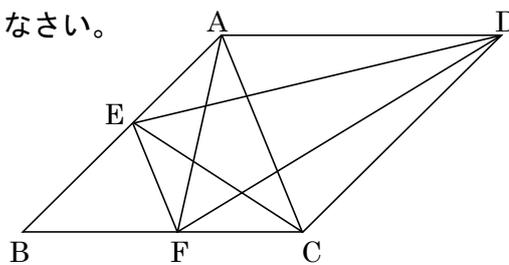
①  $\triangle ACF$  と面積が等しい三角形

$AC \parallel EF$  より,  $\triangle ACF = \triangle ACE$

$AB \parallel DC$  より,  $\triangle ACE = \triangle ADE$

$AD \parallel BC$  より,  $\triangle ACF = \triangle CDF$

**$\triangle ACE, \triangle ADE, \triangle CDF$**



②  $AE = BE$  のとき,  $\triangle BEF$  と面積が等しい三角形

$AE = BE$  より,  $\triangle BEF = \triangle AEF$

$AC \parallel EF$  より,  $\triangle AEF = \triangle CEF$

**$\triangle AEF, \triangle CEF$**

21 右の図で  $\square$  ABCD の辺 AD, CD 上に  $AC \parallel EF$  となる点 E, F をとる。

BCDE  $DF : FC = 3 : 2$  のとき,  $\triangle AFD$  は  $\square$  ABCD の何倍か求めなさい。

$\triangle AFD = 3$  とすると,

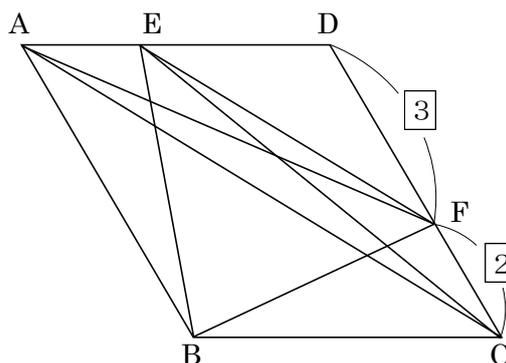
$\triangle ACF = 2$  となる。

よって  $\triangle ACD = 5$

なので  $\square$  ABCD = 10 である。

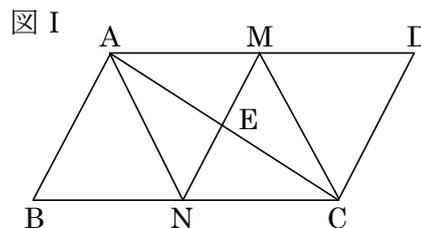
よって,  $\triangle AFD$  は  $\square$  ABCD の  $\frac{3}{10}$  倍

**$\frac{3}{10}$  倍**



22 図 I, 図 II に示す三角形, 四角形の面積は  $\square$  ABCD の面積の何倍であるか答えなさい。

BCDE (M, N はそれぞれ AD, BC の中点)



①  $\triangle ACM$  (図 I)

$$\triangle ACM = \frac{1}{2} \triangle ACD, \quad \triangle ACD = \frac{1}{2} \square ABCD$$

$$\triangle ACM = \frac{1}{2} \times \frac{1}{2} \square ABCD = \frac{1}{4} \square ABCD$$

② 四角形 ABNE (図 I)

$$\text{①から, } \triangle AEM = \frac{1}{2} \triangle ACM = \frac{1}{8} \square ABCD$$

$$M, N \text{ はそれぞれ } AD, BC \text{ の中点だから, } \square ABNM = \frac{1}{2} \square ABCD$$

$$\text{四角形 ABNE} = \square ABNM - \triangle AEM = \frac{1}{2} \square ABCD - \frac{1}{8} \square ABCD = \frac{3}{8} \square ABCD$$

$$\frac{3}{8} \square ABCD$$

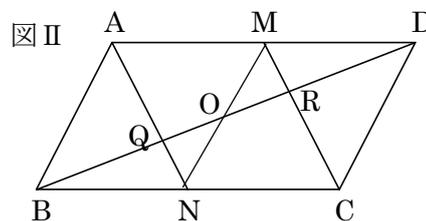
③ 四角形 AQRM (図 II)

線分 MN をひき, BD との交点を O とすると,

$\triangle MOR = \triangle NOQ$  となる

よって四角形 AQRM =  $\triangle ANM$

$\triangle ANM = \triangle BAN$  なので,  $\frac{1}{4}$  倍

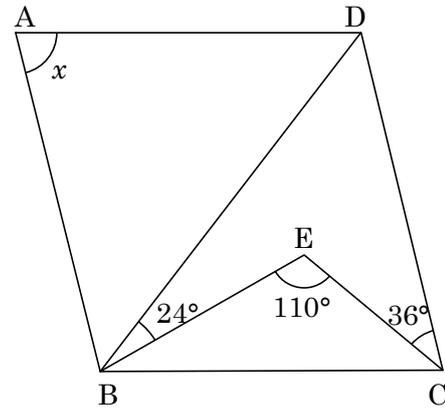


$$\frac{1}{4} \square ABCD$$

23

BCDE

右の図のひし形 ABCD について  $\angle x$  の値を求めなさい。



三角形 BCE において

$\angle BCE = x - 36$ ,  $\triangle BCD$  は二等辺三角形だから

$$\angle CBE = \frac{180 - x}{2} - 24 = 66 - \frac{x}{2}$$

$$110 + (x - 36) + (66 - \frac{x}{2}) = 180$$

$$110 - 36 + 66 + \frac{x}{2} = 180$$

$$\frac{x}{2} = 180 - 140, \quad \frac{x}{2} = 40, \quad x = 80$$

$$\underline{\underline{\angle x = 80^\circ}}$$

24

BCDE

次の hakken. の法則を読んで内容を覚えなさい。

### 平行四辺形の応用

hakken. の法則 

**例** 右の図の平行四辺形 ABCD で、対角線の交点 O を通る直線が、AB、CD と交わる点をそれぞれ E、F とするとき、 $EO = FO$  であることを証明しなさい。

[証明]

$\triangle AEO$  と  $\triangle CFO$  において

平行四辺形の、対角線はそれぞれの中点で交わるので

$$AO = CO \cdots \textcircled{1}$$

$AB \parallel DC$  から、錯角は等しいので

$$\angle EAO = \angle FCO \cdots \textcircled{2}$$

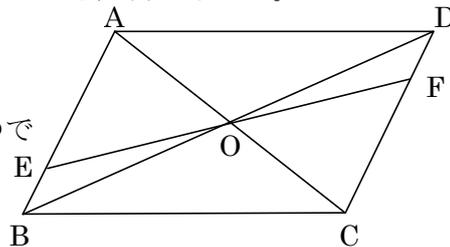
対頂角は等しいので

$$\angle AOE = \angle COF \cdots \textcircled{3}$$

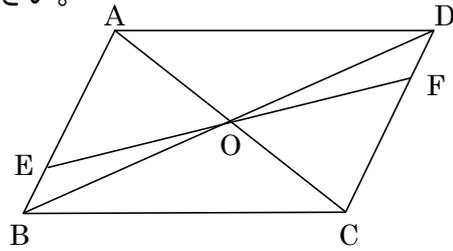
①②③から、1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しいので、

$$\triangle AEO \cong \triangle CFO$$

合同な図形の対応する辺の長さは等しいので、 $EO = FO$



- 25 右の図の平行四辺形 ABCD で、対角線の交点 O を通る直線が、AB, CD と交わる点をそれぞれ E, F とするとき、 $AE=CF$  であることを証明しなさい。



$\triangle AEO$  と  $\triangle CFO$  において  
 平行四辺形の、対角線は  
 それぞれの midpoint で交わるから、  
 $AO=CO$ …①

$AB \parallel DC$  より、錯角は等しいから、 $\angle EAO = \angle FCO$  …②

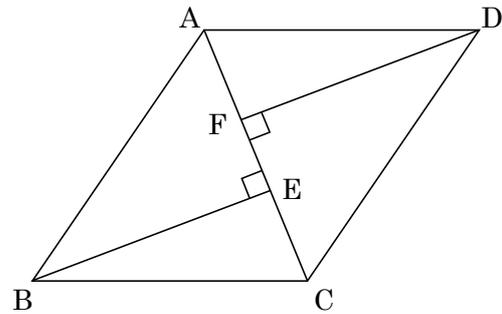
対頂角は等しいから、 $\angle AOE = \angle COF$ …③

①②③より、1組の辺とその両端の角がそれぞれ等しいから、

$\triangle AEO \cong \triangle CFO$

合同な図形の対応する辺の長さは等しいから、 $AE=CF$

- 26 右の図の平行四辺形 ABCD で、対角線 AC に頂点 B, D から垂線 BE, DF をひくと  $BE=DF$  になることを証明しなさい。



$\triangle ABE$  と  $\triangle CDF$  において  
 仮定より、

$\angle BEA = \angle DFC = 90^\circ$ …①

平行四辺形の対辺はそれぞれ等しいから、 $AB=CD$ …②

$AB \parallel DC$  で、錯角は等しいから、 $\angle BAE = \angle DCF$ …③

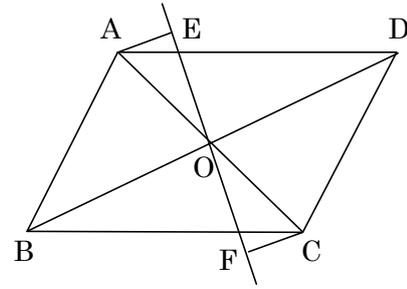
①②③より、

直角三角形の斜辺と1つの鋭角がそれぞれ等しいから、

$\triangle ABE \cong \triangle CDF$

合同な図形の対応する辺の長さは等しいから、 $BE=DF$

- 27 平行四辺形 ABCD の対角線の交点 O を通る直線に A, C からひいた垂線をそれぞれ AE, CF とするとき、 $AE=CF$  であることを証明しなさい。



$\triangle AOE$  と  $\triangle COF$  において、

仮定から、 $\angle AEO = \angle CFO = 90^\circ \dots \textcircled{1}$

平行四辺形の定理から、 $AO = CO \dots \textcircled{2}$

対頂角は等しいから、 $\angle AOE = \angle COF \dots \textcircled{3}$

①②③より、

直角三角形の斜辺と 1 つの鋭角がそれぞれ等しい

よって、 $\triangle AOE \cong \triangle COF$

したがって、 $AE = CF$